

令和5年度鹿屋市まち・ひと・しごと 創生総合戦略有識者委員会で出された 意見の反映状況等について

令和6年9月
鹿屋市政策推進課

有識者委員会で出された意見の反映状況等

■ 総合戦略の取組状況等、シビックプライドの醸成に関していただいた意見

意見等

- 育児休業を取得しやすい環境が重要であり、民間企業に波及させるために鹿屋市が先導して取り組むべき。
- 鹿屋市の歴史を学べる機会を創出して欲しい。
- シビックプライドの取組は重要であり、いろいろな取組や情報発信を行って欲しい。
- こどもたちが美味しい食材や素晴らしい自然、歴史、芸術などに触れる機会があればいい。



反映状況等

- 市では職員が育児休業を取得しやすいよう総務課が所属長面談を実施し、あらかじめ業務分担の見直し等を行うと共に、代替職員の迅速な確保に努めている。また、業務マニュアルの整備により、周りの職員が引継ぎができるよう努めている。
- 生涯学習講座「考古学から郷土史を探る」を開講するとともに、かのや風土記等をテキストにした「かのや検定」を実施予定
- かのや特派員によるまちの魅力発信や昨年度開催された総文祭や国体のレガシー事業、おいもフェスの開催、ゼロカーボンシティに向けた取組など、市民や関係団体等と連携しながら実施予定
- 地域の歴史・文化を知る学習やお年寄りから昔の遊びを習うなどの体験ができる寺子屋事業の実施、神野地区における体験型農園の整備等を行うとともに、大隅地域の高校生が参加するおおすみ総文祭を実施予定